新しい県総合計画の「地域づくりの方向（素案）」について

資料３－１

ゾーン	地域の特性	地域づくりの方向（素案）
県北山間ゾーン	【特性】 ・総人口は，過去5年間（H22～H26）の減少割合が県内で最も大きくなっています。人口構成は，県内で最も老年人口率が高くなっており，H52には老年人口が生産人口を上回ると推計されています。 ・久慈川，那珂川などの清流や八溝山系の山並み，滝や渓谷，里山などの豊かな自然環境に加え，名所旧跡，温泉，食などの観光資源に恵まれた地域です。 ・生活バス路線の確保やJR水郡線の輸送力強化などによる交通利便性の向上が求められています。 ・常陸秋そばや常陸大黒などの農産物，木材やしいたけなどの特用林産物，常陸牛や奥久慈しゃもなどの銘柄畜産物の生産振興が図られているとともに，宮の郷工業団地への企業立地が促進されています。	○地域の特性を活かした農林業など地域の産業の振興 ・今後国道118号や349号沿いに設置が予定されている「道の駅」や，常陸秋そば等の農産物などを活用した農村の活性化 ・宮の郷木質バイオマス発電所の稼働などによる木材産業の振興 ○豊かな自然環境を活かした交流空間の形成 ・（仮称）県北国際アートフェスティバルを活かした周遊型観光ネットワークの形成や，県際地域における広域的な交流圏づくりの推進 ・起業者育成講座の開設による新たなビジネス展開への支援など移住・二地域居住のより一層の推進 ・豊かな自然，温泉など多様な地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムや教育・研修旅行の推進 ○中山間地域等における安全・安心な生活空間の確保 ・生活バス路線の確保やJR水郡線の利便性の向上など生活環境基盤の充実 ・へき地医療の充実や医療従事者の確保など医療・保健・福祉機能の充実
県北臨海ゾーン	【特性】 ・総人口は，過去5年間（H22～H26）の減少割合が県北山間地域に次いで大きくなっています。 ・久慈川，那珂川の下流に広がる平坦地や変化に富んだ海岸線など，特色ある自然環境に加え，文化・観光施設，産業遺産，食などの資源に恵まれた地域です。 ・常磐自動車道や北関東自動車道，茨城港日立港区・常陸那珂港区など，広域交通ネットワークの整備が進んでいます。 ・広域交通ネットワークやものづくり産業の集積を活かした産業拠点が形成されているとともに，県産材の利用促進や，常陸牛などの銘柄畜産物の生産振興が図られています。	○ものづくり産業の集積や広域交通ネットワークを活かした産業拠点づくり ・広域交通ネットワークを活かした日立・ひたちなか地区などを中心とした産業集積，J-PARCを拠点とした産学官共同研究の促進 ・茨城港日立港区におけるLNG基地やパイプラインなどを活用した企業立地の促進，起業や第二創業の推進 ・地域の産業を担う人づくりの推進，中小企業の競争力強化 ○豊かな自然環境を活かした交流空間の形成 ・（仮称）県北国際アートフェスティバルを活かした周遊型観光ネットワークの形成や，県際地域における広域的な交流圏づくりの推進 ・起業者育成講座の開設による新たなビジネス展開への支援など移住・二地域居住のより一層の推進 ・変化に富んだ海岸線などの地域資源を活かしたブルー・ツーリズムや教育・研修旅行の推進 ○安心で快適な臨海都市圏の形成 ・国道6号勿来バイパスの整備やBRTの促進など地域ニーズに対応した生活交通サービスの充実強化 ・救急医療体制の充実や医療従事者の確保など医療・保健・福祉機能の充実
県央ゾーン	【特性】 ・総人口は，近年，一部の地域で増加しているものの，全体ではやや減少傾向にあります。 ・大洗海岸，涸沼，那珂川などの海や湖沼・河川，広大な平坦地と緑豊かな丘陵地などに加え，行政・経済・文化機能が集中する県都水戸を中心として，産業と人口の集積が図られている地域です。 ・自然・歴史・文化などの多様な資源のほか，レジャー・ショッピング施設などを数多く有し，集客力のあるイベントも開催されるなど，県内有数の観光地域です。 ・世界最高性能の研究施設J－PARCの立地や，北関東自動車道，東関東自動車道水戸線，茨城空港，茨城港常陸那珂港区・大洗港区などの広域交通ネットワークなどにより産業拠点が形成されているとともに，笠間焼や石材業などの地場産業の振興が図られています。	○都市機能が充実した中核的な都市圏づくり ・「県央地域定住自立圏」形成促進等による，県都を中心とした，商業・業務，教育，娯楽や医療・福祉等の高度都市機能の充実 ・高度な都市機能と多様な自然とが調和した居住環境の形成 ○歴史，芸術，文化を活かした多彩な交流空間の形成 ・日本遺産に認定された弘道館，偕楽園などの歴史的遺産，ラムサール条約湿地に登録された涸沼などの自然や，芸術・文化を活かした交流の拡大 ・茨城空港など広域交通ネットワークを活かした広域・国際観光の推進 ○広域交通ネットワークを活かした拠点づくりと地域の産業の振興 ・北関東自動車道や東関東自動車道水戸線，茨城港常陸那珂港区などを活かした産業拠点の形成 ・「笠間焼」などの伝統的工芸品等地場産業の振興

新しい県総合計画の「地域づくりの方向（素案）」について

資料3－1

ゾーン	地域の特性	地域づくりの方向（素案）
鹿行ゾーン	【特性】 ・総人口は，近年，一部の地域で増加しているものの全体では減少傾向が続いています。人口構成は，生産年齢人口が県南地域に次いで多くなっています。 ・霞ヶ浦・北浦を中心とする水郷地帯，肥沃な行方大地など豊かな自然環境に加え，鹿島神宮などの歴史的・文化的遺産や豊かな水辺景観，スポーツレクリエーション拠点が形成されている地域です。 ・東関東自動車道水戸線や国道51号，JR鹿島線などにより東京圏と結ばれており，当地域と東京駅とを結ぶ多くの高速バスが運行されています。 ・首都圏の食糧供給基地として，園芸作物・畜産・水産業の振興が図られているとともに，鹿島臨海工業地帯には，鉄鋼・石油化学などの素材産業が集積しています。	○首都圏の食を支える食糧供給基地の形成 ・メロン・ピーマンなど全国有数の生産量を誇る主要農産物の経営安定化，つくり育て管理する漁業の実践などによる消費者ニーズに応える農林水産物の安定供給の推進 ・「なめがたファーマーズビレッジ」など農商工等連携による6次産業化の推進や，農林水産物のブランド化の一層の推進 ○競争力のある工業地帯の形成 ・鹿島臨海工業地帯におけるコンビナートの国際競争力の強化 ・東関東自動車道水戸線などの整備促進による企業立地の促進，雇用の創出 ○自然環境やスポーツを活かした交流空間の形成と安全・安心な生活空間の確保 ・カシマサッカースタジアムや水上スポーツ，霞ヶ浦自転車道でのサイクリングなどを活用した交流人口の拡大 ・水郷潮来，霞ヶ浦・北浦，鹿島灘などの自然環境を活かした観光交流圏の形成 ・液状化対策，医療従事者の確保対策などの生活環境の整備
県南ゾーン	【特性】 ・総人口は，近年，つくばエクスプレス沿線地域を中心に増加傾向にあります。人口構成では，生産年齢人口割合が県内で最も高くなっています。 ・東京圏に近接し都市化が進展している一方で，筑波山や霞ヶ浦など豊かな自然を有する地域です。 ・首都圏中央連絡自動車道の整備が進むとともに，つくばエクスプレスの輸送人員は堅調に推移しています。 ・つくば地域には国や企業などの研究機関が集積しているとともに，広大な水田を有する稲敷地域では農業の振興が図られています。	○科学技術の集積や広域交通ネットワークを活かした産業拠点づくり ・つくばに集積する科学技術を中心とする産学官連携・地域間連携による既存産業の競争力強化や新事業・新産業の創出 ・首都圏中央連絡自動車道による成田空港へのアクセス向上など，広域交通ネットワークを活かした産業集積の促進 ・広大な水田による安定的な稲作経営の推進，レンコンや江戸崎かぼちゃなど主要農産物のブランドの確立 ○地域資源を活かした多彩な交流空間の形成 ・筑波山や霞ヶ浦，観光農園，工場見学，科学技術，つくばりんりんロード・霞ヶ浦自動車道などの地域資源を活かした観光ネットワークの拡大 ・「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」など契機とした国際会議等（MICE）の誘致による国際交流の促進 ・取手市，守谷市などのアートを活用した特色のある地域づくり ○自然と都市機能が調和した快適な生活環境づくり ・つくばエクスプレス沿線地域における自然と都市機能が調和した魅力あるまちづくりの推進 ・JR常磐線の東京駅乗り入れ効果や，駅前の再整備などによる市街地の活性化や良好な住環境の整備
県西ゾーン	【特性】 ・総人口は，過去5年間（H22～H26）の減少数が県内で最も大きく，地域全体で減少傾向が続いています。 ・東京圏に近接していますが，広大な平坦地を有している地域です。 ・筑西幹線道路や国道新4号，50号，294号などの幹線道路に加え，首都圏中央連絡自動車道の整備が進んでいます。 ・伝統的工芸品や石材業などの地場産業に加え，東京圏に近接しているという地理的優位性を活かした園芸作物を中心とした農業の振興が図られているとともに，古河周辺地区では，裾野が広い自動車産業の集積が期待されています。	○広域交通ネットワークを活かした拠点づくりと地域の産業の振興 ・首都圏中央連絡自動車道等の広域交通ネットワークを活かした，IC周辺における産業拠点の形成 ・日野自動車関連企業などの誘致及び地元企業の技術力・開発力向上等による地域の産業の活性化 ・消費者ニーズに対応した高品質な青果物の安定供給や農産物のブランドの確立，「結城紬」，「真壁石燈籠」などの地場産業の振興 ○歴史，文化や豊かな自然環境を活かした交流空間の形成 ・真壁・結城などの歴史的まちなみ，映画・テレビのロケ地など地域資源の活用促進 ・ミュージアムパーク自然博物館や小貝川・鬼怒川の水辺空間など自然環境を活用した交流人口の拡大 ○首都圏との近接性を活かした安心で快適な住環境等の整備 ・関東鉄道常総線沿線地域等における交通利便性の向上や市街地整備の推進 ・医療従事者の確保，新中核病院の整備促進など地域医療体制の充実